



瓊浦高等学校
学校通信
第 93 号

令和2年5月29日発行
電話 095-826-1261

瓊浦窓の 「生徒が輝く瓊浦 さらに発展を願って」

チーフアドバイザー 宮崎 芳之

今、日本と言わず世界中が新型コロナウイルス感染で大変な事態となっています。その影響で私たちの暮らしや社会も大きく変わり、生徒たちも制約の中での教育活動を余儀なくされています。そして、インターハイの中止、高校総体・文化部関連コンクール等の中止と、瓊浦ならではの活動がままならぬ状況です。

これまで毎日、高い目標に向かって精進してきた生徒たちは辛い思いをしているかと思いますが、こういう時にこそ発想を変えて明るい将来に向かって力を蓄え、瓊浦ファミリーが協力し合ってこの難局を乗り越えていってほしいと思います。必ず花開くときが来ることを信じて……。

さて、私こと、このたび令和2年3月31日付をもちまして、瓊浦高等学校長を退任いたしました。平成24年4月の校長就任以来8年に渡り公私ともに格別のご懇情とご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

素直で明るく元気のよい生徒たち、献身的にご協力くださった保護者の皆様、母校愛に満ち物心両面にわたってご支援くださった同窓会の皆様、常に心温かく見守りエールを送ってくださった地域の方々、そして何よりも生徒たちへの愛情と教育に対する情熱に溢れる教職員の皆様と共に過ごした日々は、私にとってかけがえのない一生の宝物となりました。

この8年間で顧みますに、「明るく楽しく元気のある『誇り』を持てる学校」を目指して、皆さんと一緒に取り組んできました。瓊浦の生徒たちはそれにふさわしい活躍をしたと思っています。

就職、進学、部活動。それにボランティア活動を通しての地域貢献等、バランスのとれた、しかも質の高い教育成果をあげることができ、地域の皆様からも高い評価をいただくことができました。今や地域になくてはならない学校になったと自負しております。

また、「生徒が輝く瓊浦、日本一が狙える学校」というスローガンのもと、男子バドミントン部が見事それを達成しました。昨年度、全国私学選抜大会並びに全日本ジュニア選手権大会において日本一となり、これから国際大会に出場するため舞台を世界に移すことになります。目下、次のパリオリンピックを目指して頑張っているところです。この快挙は瓊浦の誇りであり、我々に希望と勇気を与えてくれました。誠に喜ばしい限りです。学校を挙げて応援したいと思います。

「師弟の和熟は育英の大本たり」という夏目漱石の言葉があります。教育というものは、教師が生徒に対し信頼と愛情を持ち、生徒は先生を敬い、生徒と先生が共に学び、共に切磋琢磨するという意味なのですが、まさしくそれを実現させているのが瓊浦だと思っています。この関係をこれからも絶やすことなく大事に繋げてほしいと願っています。

生徒たちはそれぞれが素晴らしい可能性を持つ金剛石の原石です。しかしその原石は磨かないと光りません。伝統ある瓊浦高校で、仲間と、そして先生方とが切磋琢磨する中での学びが、自分自身を磨くことになるのです。それが、生徒たちにとって大きな生きる力となることでしょう。瓊浦の生徒として、どうか誇りを持って我が道を堂々と心豊かに歩んでいただきたいと思います。

私は今後、「チーフアドバイザー」という立場で微力ながら瓊浦高校のさらなる発展のために尽くしていく所存です。どうかこれからもよろしく願いいたします。

学校再開



4/22（水）～5/10（日）までの臨時休業期間を終え、5/11（月）より本校の学校活動が再開されました。はじめは9時30分登校の特別設定日課でしたが、状況の好転により、5/25（月）から通常日課に戻っております。歓迎遠足の中止、ゴールデンウィーク期間中の部活動禁止など、本校も新型コロナウイルスによって数多の足踏みを余儀なくされました。これから徐々に日常を取り戻すために、引き続き感染防止策を講じ、安心できる環境作りに努めて参ります。ご理解とご協力をお願い致します。



県高総体、初の中止

「仲間と一緒に頑張ってきたのに・・・」

間違いなく瓊浦の、長崎の、そして全国の部活動生は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため最大限の努力を行ってきました。それでもその猛威は衰えることなく、4月末、インターハイ中止が決定されました。その後、相次ぐ全国各県の高総体中止の知らせ。長崎県も例に漏れず、5月14日、中止が発表されました。

言うまでもなく、瓊浦の部活動への取り組みは県内随一です。昨年度の新人戦では多くの部が素晴らしい成果を上げ、今年度の高総体でもその活躍が期待されていました。

それゆえ今回の中止の知らせが、多くの生徒、特に3年生に言いようのないショックを与えたことは想像に難くありません。終局を飾る大会が無い。このような形で引退を迎えようとは、誰が予想できたでしょうか。

生徒の口から聞こえてくるのは、「気持ちの整理がつかない。」「全国を目指していたのに残念。」といった無念の声。しかしその二言目からは「後輩に思いを託したい。」「これまでの努力が今の自分を作り上げた。自信をもって進路活動に臨みたい。」といった前向きな言葉が出てきます。この強い3年生ならば、これから先のどんな苦難にも立ち向かっていけるでしょう。

次に大きな大会があった時、そこに3年生の姿はありません。先輩の背中を見てきた1・2年生の出番です。感染症の脅威は収まってきていますが、まだまだ予断は許されません。感染予防を徹底させた上で、来たるべき時に向けて力を磨いて欲しいところです。依然、各競技に制限がかかっている状況ですが、3年生から受け継いだ重いバトンを手し、飛翔する時が来ることを信じています。

《 主な行事・6月 》

5日(金) 第6回進路模試(3年)
16日(火) 県外企業説明会(3年)
17日(水) AED講習(1年)
歯科検診
18日(木) 第2回実力考査(3年)
19日(金) 計算技術検定
21日(日) 全商電卓検定
22日(月) 創立記念集会
創立記念週間(～26日)
23日(火) 期末考査時間割発表



25日(木) 創立記念日
26日(金) 情報技術検定
28日(日) 全商簿記実務検定
30日(火) 期末考査(～7月3日)

★卒業生から後輩達へ★

日本体育大学体育学部3年(平成29年度卒)
村本 竜馬



私は今、日本体育大学に在学中ですが、現在(5/22)の関東地方の生活は未だに自粛が余儀なくされている状態です。その中で夏の甲子園、インターハイ共に中止が決定して私も悔しくてなりません。高校3年間の思いを夢の舞台で発揮できないのは相当な気持ちだと思います。しかし、これで終わったわけではありません。これまでにない悔しさや悲しみを今ここで味わった瓊浦生のみならず。君たちには、これから先の人生で、その思いをバネにどんなことにも諦めない心を持ってほしいと思います。諦めずにやっても実らないこともあります。でも成果として自分に何かしらの影響を与えてくれるはずですよ。

瓊浦高校の卒業生として、これからの瓊浦生の活躍を常に応援して見えています。この苦境を乗り越えれば、心も体もこれからますます強くなっていくはずです。私はそう信じています。頑張れ瓊浦!

★卒業生から後輩達へ★

長崎県立大学看護栄養学部1年(令和元年度卒)
古川 愛夏



私の在籍する大学では、現在オンデマンド型とオンライン授業の形になっています。平日はオンラインでグループワークをしたり、送られてきた課題に取り組んだりしています。授業がない日や、空きコマなどを使ってレポート作成、復習、予習をしています。ほぼ毎日朝から夜中までパソコンに向かって作業しています。新しくアルバイトが始まるので、もっと計画的に取り組まないと課題が多すぎて大変になりそうです。

コロナウイルスの影響で高総体中止が決定しました。私自身、高総体という区切りがあったからこそ、部活動も勉強も頑張ることが出来た面があります。一緒に汗を流した後輩が、この憂き目に遭っているのは残念でなりません。しかし、皆さんの人生はまだこれからです。気持ちを切り替えて、部活や勉強頑張ってください!特に3年生は就職、進学と大変な時期ですが、ラストの高校生活悔いの残らないよう楽しんでください!体調管理には気をつけて!応援しています!!